

鋼構造物・コンクリート構造物の調査・診断(港湾・一般構造物) NIPPON STEEL | 日鉄防食

〈構成〉

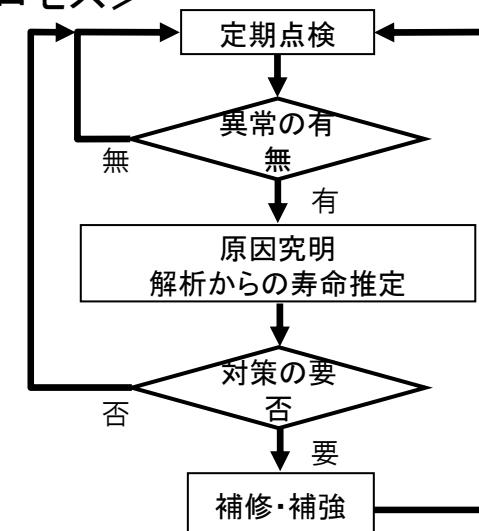
構造物の腐食状況を的確に把握し、腐食原因調査を行います。

また、構造物の診断を行い、今後の寿命予測を行い、必要に応じて的確な補修・補強の設計・施工を行います。

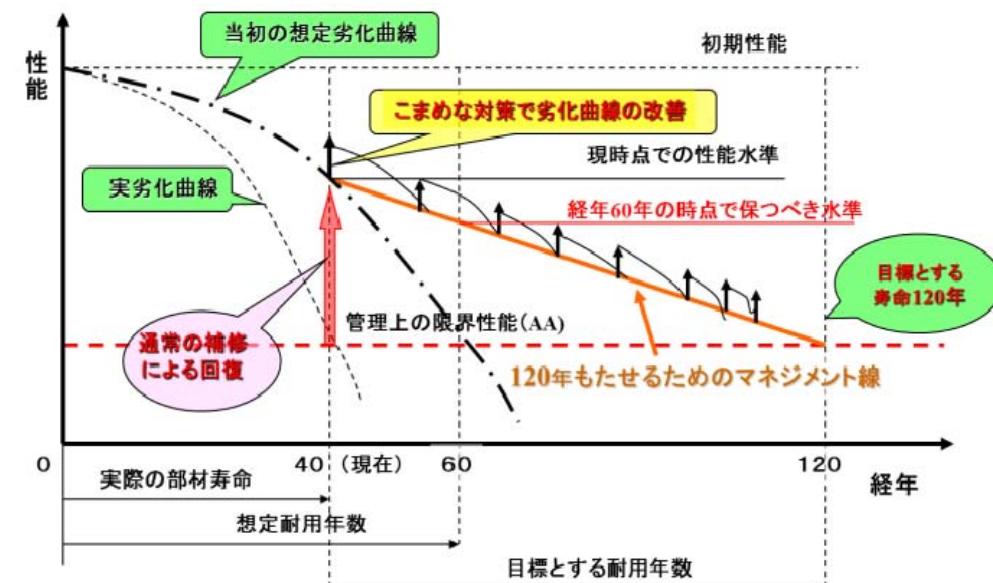
補修・補強後は定期点検及び維持管理を提案・実施を行います。

これら一連のサイクルにより設備の延命化に努めます。

〈プロセス〉



延命化のマネジメント線図一例

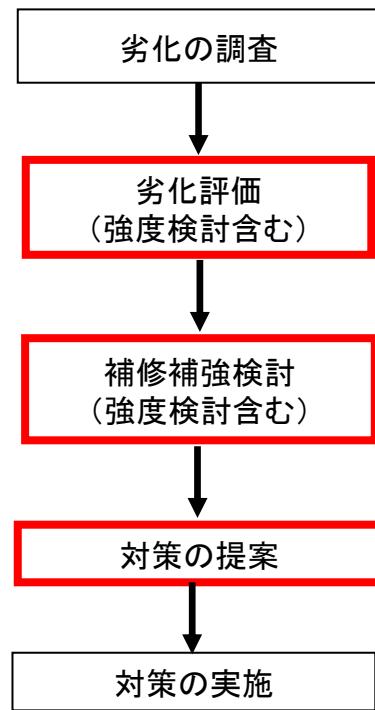


阿部允,“実践土木のアセットマネジメント”日経BP社 2006.8

お問い合わせ先: エンジニアリング事業部 Tel: 03-5858-6127

No. 3E1

＜工法プロセス＞



調査結果を元に、劣化調査、補修補強検討を行います。

＜施工前＞



＜施工後＞



検討及び防食・補修方法の提案

- ・強度検討
- ・対策検討(防食・補修工法提案など)
- ・維持管理方法検討

等

＜検討実績＞

施工時期	内 容
H 5.7～ 9	ケーブル防食補修方法の検討
H11.12～ H12. 3	名古屋製鐵所 岸壁強度検討
⋮	⋮
H24.1～2	土木鋼構造物における劣化対策工法検討業務

他多数

お問い合わせ先：エンジニアリング事業部 Tel:03-5858-6127

No.3E2

＜概要＞

港湾設備の老朽化が部分的に顕在化してきている中、高出荷を支える港湾設備を維持するためには、より厳格な計画保全を実施する必要があります。

そのために各種管理基準に則って、調査・診断を行なっていくと共に、そのデータ、整備記録、トラブル記録等をバンクしていくことも重要です。そのツールとして港湾維持管理システム(マッピングシステム、LCC評価プログラム)を構築しました。

＜導入実績＞

施工時期	施工場所／内容
H20	千葉県／港湾設備
H21	愛知県／港湾設備
H23	兵庫県／港湾設備

お問い合わせ先： エンジニアリング事業部 Tel:03-5858-6127

No.3E3